いのちの輝き

2016 December 45

MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL 宮城県立こども病院 広報紙

http://www.miyagi-children.or.jp/

発行：地方独立行政法人 宮城県立こども病院　〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17　TEL:022-391-5111　FAX:022-391-5118

「こども病院のクリスマスイルミネーション」

院長　林　　富

「光のページェントin宮城県立こども病院～ときめき光の草原～点灯式」が12月5日に開催されました。3人のこども達がみんなのカウントダウンに合わせてスイッチを押すと赤、黄、緑のおよそ8,500個の電球が点灯し、クリスマスツリーやトナカイがこども病院の中庭に輝きました。このクリスマスイルミネーションは12月25日までの三週間、こども達やご家族の心を和ませてくれます。

「光のページェントin宮城県立こども病院」は、SENDAI光のページェント実行委員会、プルデンシャル生命保険、富士古河E&C㈱の皆様の企画主催と河北新報社様のご協力によるもので、今年で第九回となります。

点灯式の前に、プルデンシャル生命保険のマリンバ奏者、高橋直樹さんとピアニストのお母様のミニコンサート、ホスピタルクラウンの方々のパフォーマンスショーに、人気声優で塩竈出身の山寺宏一さんと愛河里花子さんのアニメキャラクターの声（こども達は誰の声か全部当ててしまいます）と、「大きなかぶ」の人形劇があり、みんな大喜びでした。

特に今回は3月に拓桃医療療育センターが移転して、拓桃館に81床増床になったので、これまでの二倍以上と思われる100人を超えるこども達が愛子ホールに集まり、ホールはみんなの笑顔と楽しい弾んだ声で一杯になりました。この点灯式は同時に各病室のテレビに放映されたので、みんなが楽しむことができましたね。

病院理念

- 私たちは、こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む心の通った医療・療育を行います。
- 私たちは、高度で専門的な知識と技術に支えられた、良質で安全な医療・療育を行います。

病院の基本方針

①チーム医療、成育医療及び総合的な療育プログラムを実践し、温かい医療・療育を行います。
②こどもの成長・発達に応じたきめ細やかな医療・療育を行い、自立の心を育みます。
③一人ひとりの成長・発達に寄り添い、安全で潤いのある療養・療育環境を整えます。
④小児医療と療育の中核施設として、地域の関係機関と連携し、患者や家族の地域での生活を支えます。
⑤こどもや家族と診療・療育内容の情報を共有し、情報公開に努めます。
⑥自己評価を行い、外部評価を尊重するとともに、業務の改善や効率化を図り、健全経営に努めます。
⑦臨床研究及び人材の育成を推進し、医療・療育水準の向上に貢献します。
⑧職員の就労環境を整備するとともに、職員の知識・技術の習得を支援します。

Contents

各診療科アピールポイント ……2
部門紹介 ……3
ボランティア紹介 ……3
地域医療連携室だより ……4
拓桃園紹介 ……5
院内サークル紹介 ……6
行事予定 ……6
編集後記 ……6

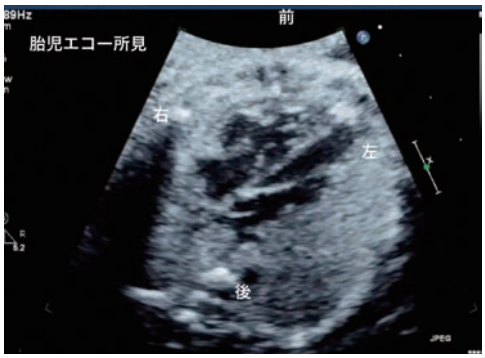
Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第JC1934号

当院は日本医療機能評価機構の認定病院です。

各診療科アピールポイント

循環器科

循環器科　科長　田中 高志



循環器科では、宮城県内のみならず東北地方の基幹病院となるべく様々な小児循環器の診療を行っておりその一部を紹介させていただきます。めざすは胎児期から大人までの一貫したその児にあった高度な医療を行うことにあります。

先天性心疾患は、胎児期に診断を行いその後の治療を計画的に行う事が理想です。当科では東北唯一の胎児心臓病心エコー専門病院として症例を集積させ、東北大学と協力して宮城胎児心臓病研究会を立ち上げ、胎児診断の普及とともに紹介いただいた患者さんのフィードバックに努めています。

また循環器科は心臓血管外科とのコラボレーションが大変重要であり手術前後の評価のみならず、術中食道エコー検査や手術とカテーテル治療を同時に行うハイブリッド治療などを行っています。

このほか、最新の技術を取り入れている分野に心臓カテーテル検査および治療があります。カテーテル検査および治療件数は年々増加傾向にあり検査は年間280件を超え、治療は70件を超えています。カテーテル治療は少しづつ手術治療に置きかわってきており、昔からのバルーン治療に加えてコイル塞栓術、ステント留置術、血管塞栓術等年々進歩しています。2014年からは動脈管開存症、2015年からは心房中隔欠損症のカテーテル治療の認定施設となり、現在南東北唯一の認定施設として山形県や福島県からも紹介を受けています。

アンプラッツァーASD閉鎖栓

一方で、成人になった患者さんの成人期への移行医療にも力を入れており、過去にはちゃんと管理されなかった成人症例を東北大学に集約するようにし、当科としてはその移行がスムーズになるよう、患児の教育等に努めています。

最近は循環器を志す若手医師も増え、こども病院のレベルアップにつながり、活気にあふれています。

後列左より 川合 英一郎 医長、田中 高志 科長、小澤 晃 部長、髙橋 怜 医師
前列右より 大軒 健彦 医師とスタッフの皆さん

部門紹介

放射線部

（技師長　板垣 良二）

後列左より 佐々木 主任、佐々木 技師長、亀谷 主任、入國 技師、板垣 技師長
前列左より 渡邊 主任、富永 技師、松﨑 主任、西川 技師、町井 技師

放射線部は診療放射線技師10名、受付クラーク1名で構成されており、放射線科医師2名と本館並びに拓桃館の外来看護師の協力のもと検査を行っています。業務内容としては胸腹部や手足などの一般撮影や歯科撮影、各病棟への回診撮影、MRI検査やCT検査、血管撮影・心臓カテーテル検査、消化器・泌尿器等の透視検査、核医学検査、骨密度検査を主に行っています。今年からは骨・関節の断層撮影も行うようになりました。また、放射線治療では頭蓋照射や骨髄移植前の全身照射などを行っています。検査中はアニメを見たり音楽を聴いたりして、できるだけ苦痛にならないよう心掛けて検査を行っています。時折、検査室に入る前から大泣きしたり逃げ出したり、暴れたりするお子さんも見受けられますが、看護師、CLS、診療部医師など各部署の協力を得て安全に検査・治療が行えております。こども達が安全に穏やかな気持ちで検査・治療が行えるようこれからも努力してまいりますので、皆様のご支援とご協力のほど宜しくお願いいたします。

ボランティア紹介

拓桃館 学卒児の学習支援

（山陰 千佳子）

“Study English”と“Let's Study English”

最初の文には話し手が含まれませんが、後の文には話し手が含まれます。

学習支援を始めて５カ月。支援というより「レッツ」の気持ちで一緒に勉強をしています。「こうしてみたら」と提案すると、こどもは自分の力で考えて、答えを見つけていくようです。

週に１度の貴重な１時間。最初の頃の緊張も、手作りプリントの奇妙な間違いに笑いが出るくらい、自然体になりつつあります。

大人の不完全な部分が、こどもとの距離を縮めることを学びました。また、外来ボランティアではわからなかった、日々こども達を支えている保育士さんの暖かい仕事振りには、本当に頭が下がります。

こんな進め方でいいのか、と迷ってばかりですが、“Let's”の心を忘れずに、一緒にやっていこうと思っています。

地域医療連携室だより

登録医の先生方へ（お知らせとお願い）

緊急で当日の受診を必要とする患者さんのご紹介について

登録医療機関・かかりつけ医･地域の医療機関の先生より、当日当院での急ぎの受診（もしくは入院）が必要な患者さんをご紹介いただく場合、まず電話でご一報をお願いいたします。

病院代表　TEL 022−391−5111へお電話をお願いします
電話交換手に「緊急です」とお申し出ください
↓
該当診療科医師もしくは救急当番担当医（内科系医師）におつなぎします

※時間外での緊急の診察依頼は、時間外窓口（防災センター）でお受けします。
病院代表　TEL 022−391−5111

地域医療研修会のご案内

臨床遺伝カンファランス

当院診療部より先天性疾患（先天異常)･遺伝性疾患の症例を呈示し、関連したテーマで臨床遺伝専門医によるミニレクチャーを行います。

第34回　平成29年　2月　2日(木）18:00〜　場所：宮城県立こども病院　愛子ホール

臨床放射線病理カンファランス（CRPC）

当院診療部より2症例を呈示し、臨床・放射線・病理など様々な角度から診断・治療をじっくり検討します。当日ご参加の先生方からの症例呈示も歓迎いたします。詳細は、電子メールでご案内いたしますとともに、当院ホームページに掲載いたします。
本カンファランスは、日本医師会生涯教育講座認定（1単位）認定見込みです。

第39回　平成28年12月14日(水）18:00〜　場所：宮城県立こども病院　愛子ホール
第40回　平成29年　3月　8日(水）18:00〜　同上
第41回　平成29年　6月14日(水）18:00〜　同上

この他にも、感染対策研修会、安全対策研修会等の開催を予定しております。

地域医療連携室電話対応時間（短期入所関連含む）について

これまで、地域医療連携室での電話予約対応時間（短期入所関連含む）は、平日の8:30〜17:15までででしたが、諸事情により平成29年1月4日(水)より、平日の8:30〜17:00までと変更させていただきます。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

宮城県立こども病院　地域医療連携室　室長　虻川 大樹

〒989-3126　仙台市青葉区落合四丁目3-17　TEL:022-391-5115（直通）　FAX:022-391-5120（直通）
E-mail:　tiiki@miyagi-children.or.jp　http://www.miyagi-children.or.jp/
開室時間／月〜金曜日（祝日、年末年始は除く）8:30〜17:15
（平成29年1月4日(水)より8:30〜17:00）

拓桃園紹介

『療育』の探求

副看護部長　皆川 寛恵

『現代の科学を総動員して不自由な肢体をできるだけ克服し、それによって幸いにも回復したる回復能力と残存せる能力と代償能力の三者の総和（これを復活能力と呼称したい。）であるところの復活能力をできるだけ有効に活用させ、以て自活の途に立つように育成することである。』昭和17年 高木 憲次先生が説かれた『療育』です。

60年前に肢体不自由児施設として始まった整肢拓桃園の時代から、今年の3月に宮城県立こども病院に移転した現在にも、拓桃園に引き継がれてきている理念です。

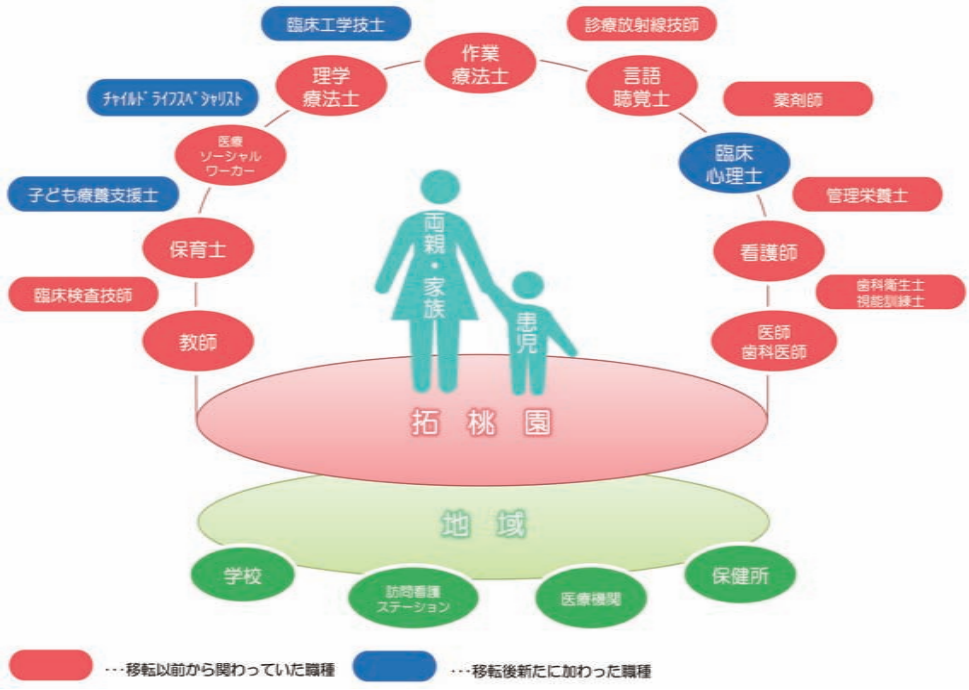
障害を持ったお子さんの治療には長い時間が必要となります。その入院中でも、患者さんは患者さんなりの成長発達をしていることを意識しなければいけません。本来ならばご家庭の中で育まれるべき大切な時間をおあずかりしている私たちの役割は、ご家族に代わってその子らしい成長発達ができるよう今獲得できる能力の糸口を見つけて支援することにあると考えています。

患者さん一人ひとり違う目標に、各職種の専門的知識を総動員させ個人に合った関わりを協働していきます。情報の共有と目標に向かったアプローチを検討するため、代表的な場として『療育会議』があります。一人の患者さんを各職種ではどう捉えているか、どんな目標を立てどんな関わりをしていくのか、情報交換と共に、協働するためのディスカッションが行われます。会議の結果に基づいたアプローチにより、患者さんの変化が見えた時は、患者さんの将来の可能性が広がったと感じるうれしい瞬間になります。

入院患者さんの重度化に伴い、なかなか目に見えた変化が得られにくくなっていますが、患者さんとの小さな関わりの積み重ねから生まれるほんの小さな変化に気づける目と変化に結びつく『療育』を探求できるスタッフの力をこれからも期待し支援していきたいと思っています。

『療育会議』の様子

療育イメージ



宮城県立こども病院 院内サークル紹介

ボクシングサークル

（産科　医師　小堀 周作）

こども病院のボクシングサークルが発足して、早くも半年が過ぎようとしています。小堀（産科）を代表とし、数名で週一回程度職員ラウンジで、汗を流しています。活動内容としては、縄跳びやミット打ちなど、音楽に合わせて体を動かしています。そもそものサークルの設立目的は運動不足解消でした。私事ですが、長年の不摂生により体の不調を訴える事が多くなり、特に胃腸が日に日に弱っていくのを感じていました。運動不足が原因ではないかと考えていたのですが、運動する場所・機会がなく時間が過ぎ、今年4月に仙台に赴任となりました。こども病院で働き始め、職員ラウンジという最高に運動しやすい場所に出会い、サークルを始めるきっかけとなりました。運動の成果なのか、現在胃腸の調子が今までの人生の中で一番いいです。

兄がWBA世界ライト級チャンピオンに（2008.5.19）

運動不足の方、ストレスが溜まっている方は、是非一緒に運動しましょう！

行事予定

12月 5日　光のページェント　点灯式
12月 5日　まほうの広場コンサート
12月13日　銀次選手慰問
12月14日　難病のこども支援全国ネットワーク サンタクロース慰問
12月19日　心魂（こころだま）ミュージカル
12月22日　クリスマス会(こども病院)
12月26日　まほうの広場コンサート
12月27日　ウインターパーティー
1月12日　まほうの広場コンサート
1月13日　餅つき会

編集後記

今年は、「スーパーラグビー」・「オリンピック」・「フィギュアスケート」などの明るい出来事がありましたが、4月に発生した「熊本地震」や8月の「台風10号土砂災害」は「東日本大震災」の記憶を思い起こさせる悲しい出来事でした。できるだけ早い復興をお祈りしております。

こども病院は、平成28年3月に「拓桃医療療育センター」と施設が統合し、10か月が経過いたしました。さらなる医療・サービスの質の向上を目指して活動を行っております。

その一つとして、今回掲載の診療部紹介から、その診療部が「どのような診療を行っているのか」などの、アピールポイントを掲載することといたしました。より身近な病院としてご理解いただければ幸いです。

今年一年間お世話になりありがとうございました。来年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。（総務課　課長代理　板橋 孝）

地方独立行政法人
宮城県立こども病院

〒989-3126
宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17
TEL:022-391-5111　FAX:022-391-5118
http://www.miyagi-children.or.jp/

広報委員会

委 員 長　田中　高志
広報委員　虻川　大樹　阿部　智　板橋　孝　乾　健彦
今泉　益栄　岩崎かおり　大塚　有希　小畑　正子
車田　眞澄　櫻井奈津子　髙橋　清志　武山　淳二
千葉　弥生　濵町友里恵　原山千穂子　藤本　尚子
星　芳夫　真嶋　智彦　町井　祐輔　三上　静香
皆川　寛恵　森永　華世　横山麻依子

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
VEGETABLE OIL INK
R100
古紙配合率100%の再生紙を使用しています。